

学術講演会



◆会場

中京大学アネックスホール
(中京大学16号館6階)

◆日時

2015年
12/11
(金)
15:00
~
17:00

定員
100名

参加ご希望の方は、
直接会場へ
お越しください。

 講演テーマ

イタリアのアーカイブズと 文書保護局 *Gli archivi italiani e l'azione delle Soprintendenze Archivistiche*

長い歴史をもつイタリアには、国の公文書以外でも多数の重要な文書が存在する。例えば、地方公共団体や私企業、各種団体の所有するアーカイブズなどである。

これらの地方公共団体や私企業、各種団体の所有するアーカイブズの管理・運用のためのガイドラインの策定や調査を行い、関連プロジェクトを実施している国の機関が、文書保護局である。同局は、さらに、大規模な災害やテロなどにおけるアーカイブズの救出や、重要文書と認定した文書に対して「最重要歴史的価値宣言」を発令し、免税措置と引き替えに保護や公開の義務を課すなどの幅広い権限を持っている。

 講演者

ディアーナ・マルタ・トッカフォンディ氏
(*Diana Marta Toccafondi*)

トスカーナ文書保護局 局長

通訳：人間文化研究機構 国文学研究資料館特任助教 湯上良氏



ディアーナ・マルタ・トッカフォンディ博士は、トスカーナ州内の地方公共団体や企業などのアーカイブズを管轄するトスカーナ文書保護局の局長である。

このトスカーナ地方は、中世期にフィレンツェやシエナを始めとした都市国家が栄え、華やかなルネサンス文化が開花した場所で、歴史的に重要な文書の宝庫でもある。そのため、トスカーナ文書保護局の活動は多岐に亘り、イタリア文化の守護者とも言える存在となっている。

◎講演の導入部に湯上氏による日本とイタリアのアーカイブズ行政の違いについての簡単な説明があります。